

長野県ヤングケアラー実態調査結果の概要

県民文化部こども若者局次世代サポート課

1 調査の概要

目的：本県における児童生徒の状況を把握し、ヤングケアラーの早期発見と支援策を検討する。
 調査時期：令和3年度～令和4年度
 方法：web（無記名アンケート）
 調査対象：県内小学5、6年生、中学生、高校生（全日制、定時制、通信制）、大学生・短大生

2 回答者数・回答率

調査対象	対象者数	回答者数	回答率%
小学生	約 35,000	31,378	約 89.7
中学生	約 54,900	44,800	約 81.6
高校生（全日制）	40,705	12,036	29.6
高校生（定時制）	1,659	338	20.4
高校生（通信制）	1,603	95	5.93
大学生・短大生	約 19,000	1,502	約 7.9

3 調査結果・課題

【表①：ヤングケアラーの割合（%）】

区分	小	中	高	大
長野県	11.6	6.3	2.1	4.5
全国	6.5	5.7	4.1	6.2

高校生は全日制のデータ

表①：県内にも一定数のヤングケアラーがおり、小中学生では全国平均を上回っている。年齢が低くなるにつれて、お世話をしている人がいる割合が高くなる傾向にある。

【表②：お世話について誰かに相談したことの有無（%）】

区分	小	中	高	大
相談したことがない	64.8	60.4	64.0	58.2

表②：いずれの年齢においてもお世話を「誰かに相談したことがない」が半数以上

【理由】

- ・相談するほどの悩みではない
- ・相談しても何も変わらないから
- ・家族以外に相談するような悩みでないから

【表③：お世話することで経験したこと（%）】

区分	小	中	高	大
自分の時間が取れない	8.6	10.1	10.9	15.6
宿題や勉強をする時間がとれない	7.1	11.2	11.7	7.4

表③：いずれの年齢においても「特にない」が最多生活に影響があると回答した者の中では、いずれの年齢もお世話により「自分の時間が取れない」という影響が出ている。

【表④：周囲に期待する支援（%）】

区分	小	中	高	大
自分の話を聞いてほしい	11.9	10.2	7.5	11.5
自由に使える時間がほしい	10.9	12.0	4.1	20.5

表④：いずれの年齢においても「特にない」が最多次いで多いのが

- ・自分のことについて話を聞いてほしい
- ・自由に使える時間がほしい

ヤングケアラー支援対策推進事業について

次世代サポート課

1 目的

ヤングケアラーは潜在化しやすく、支援の手が届きにくいいため、県全体における相談受付体制の構築や地域の支援体制づくりを担うヤングケアラー・コーディネーターの配置、外国語通訳派遣、多職種連携研修会の開催等の事業を推進することにより、ヤングケアラー支援体制の強化を図る。

2 事業内容

(1) コーディネーター配置・専用相談窓口設置・外国語対応通訳派遣・研修会開催

①実施体制 長野県社会福祉協議会に委託（R5.6.1～）

専任コーディネーター2名（いずれも社会福祉士）を配置し以下の業務を実施

②業務内容

ア 専用相談窓口の設置

- ・県内のヤングケアラーや家族等を対象とした Google フォーム、LINE、電話による専用相談窓口を開設（市町村等関係機関と連携し対応）
- ・6月22日から運用開始予定

イ 県レベルのヤングケアラー支援ネットワークの構築

- ・ヤングケアラーに係る問題解決と支援の円滑化を図るため、県レベルでの関係支援機関（教育事務所、福祉事務所等）のネットワークを構築

ウ 市町村のヤングケアラー支援体制構築の支援

- ・市町村等関係機関及びスクールソーシャルワーカーとの連携を促進し、地域の支援体制構築を支援
- ・相談等により把握した事例を市町村等関係機関へ繋ぐとともに、市町村等関係機関の相談対応への助言等を実施

エ 外国語対応通訳派遣支援

- ・日本語が苦手な家族の世話をしているヤングケアラー当事者や家族に対し、日常生活を送るために必要な病院や行政手続等における外国語通訳者等を派遣
- ・市町村等関係機関からの相談の中で該当案件がある場合に派遣

オ 研修会の開催

- ・支援者向け：多職種連携研修会（R5.11～12、1～2回）
教育部門及び福祉部門等の関係者間の連携強化を目的とした研修会（事例検討、ケースワーク）を開催
- ・一般県民向け：認知度向上研修会（R5.11、1回）
ヤングケアラーに対する認知度向上を目的とした一般県民向け研修会

(2) ヤングケアラーオンラインサロンの開催

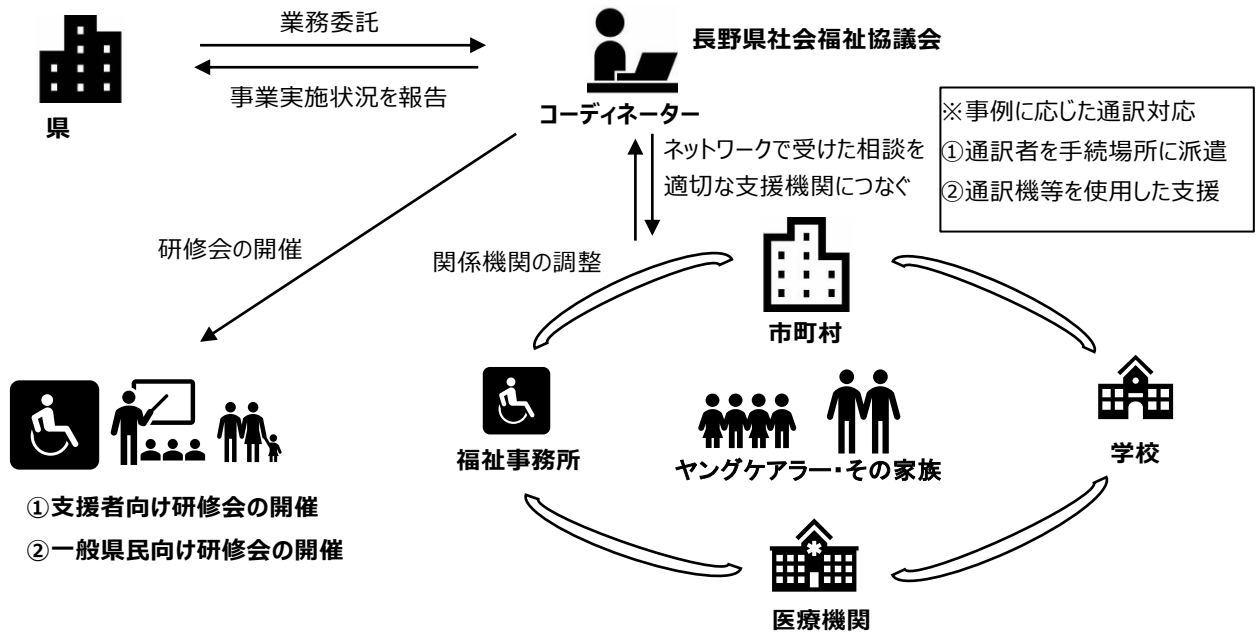
- ・ヤングケアラー当事者がオンライン上で互いに語り合うことで、精神的負担を軽減することを目的にオンラインサロンを開催（1～2回）
長野県社会福祉協議会に業務委託（R5.7.1～）

3 市町村担当者会議の開催

・本県のヤングケアラーの実態、県実施事業（コーディネーター、相談窓口、外国語通訳、多職種連携研修会等）の説明、先進市町村の取組事例の共有等、市町村のヤングケアラー支援体制構築を促進

4 事業フロー

(1) ヤングケアラー・コーディネーター配置・専用相談窓口設置・研修会開催事業



(2) ヤングケアラーオンラインサロンの開催

